鳴き声を"見える化"して、自然調査をもっとスマートに。

録音データをスペクトログラム(声紋)に変換して識別精度、作業効率を大幅アップ!



音声解析手順

音声ファイル

ノイズ低減処理

WAV 形式(モノラル)に変換

ファイルを細かく分割

短時間フーリエ変換(STFT)

スペクトログラム

AI モデルによる学習

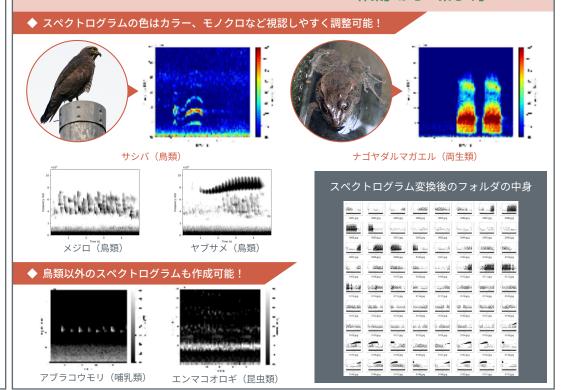
※一定の重複時間を設けて分割します。

スペクトログラム変換のメリット

▼ 音声チェックの時間を大幅に短縮



長期間モニタリングが 「作業」から「楽しみ」へ!



使用する録音機器の例

BESS TO SERVICE AND SERVICE AN





TASCAM リニア PCM レコーダー

サービス利用手順

- ❶ 音声ファイルをお送り頂きます。
- ② 弊社側で「WAV 形式 (モノラル) に変換」→「ファイルを細かく分割」→短時間フーリエ変換(STFT)を行い、スペクトログラムに変換します。
- 3 ご要望があれば弊社の方で目的とする種の音声ファイルを抽出します。
- ひクロウなど、特定の種に絞ったモニタリング計画の場合、初年度にAIによる音声識別モデルを作成し、翌年以降の作業効率を向上させることも可能です。

お気軽にお問い合わせください。

🔏 相談無料

自 目籍無料

地域環境計画輸送機器

株式会社 地域環境計画 〒154-0015 東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル 営業本部 プロダクト営業部 担当: 日部(いんべ)



https://www.chiikan.co.jp/



